

授業科目	* 老年看護方法論				単位	2		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護)		ナンバリング	NU21316J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2			
担当教員	溝部 昌子、吉原 悦子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>老年看護の対象である高齢者を、生活機能を含めて総合的にとらえて看護を展開するための技術を学ぶ科目で、看護の基本から発展した内容を含む。</p> <p>実務家教員として、高齢者看護の実務経験のある教員により、実践的な老年看護のアセスメント技術、ケア技術について教授する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の栄養ケアマネジメントにおける評価方法、多面的な栄養管理方法を理解できる 2. 高齢者の排泄自立支援の方法について説明できる 3. 褥瘡リスク評価と予防ケアについて説明できる 4. 視覚・聴覚機能が低下した高齢者への生活への影響を説明できる 5. 高齢者の運動機能障害と生活機能の関連について説明できる 6. 検査・治療を受ける高齢者の看護について説明できる 7. リハビリテーションのためのレジリエンスを高める看護について理解できる 8. 高齢者に特有な症状(心不全、誤嚥性肺炎、脱水、浮腫)の病態と看護問題を説明できる 9. 高齢者の安全を脅かす要因を説明できる 10. 災害における高齢者の健康への影響を説明できる 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	35	0	0	15	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	20		15				35	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30		15				45	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			5			15	20	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
加齢性の心身機能の変化を踏まえ、高齢者特有の健康障害や療養上のリスクを理解し、老年看護学的な種々の患者アセスメント方法を駆使し、対象を理解することができる。看護問題について対象の意向や状況に応じて設定した看護目標を達成するために、様々なケア方法を検討することができる。				看護における情報収集、アセスメント、ケアの実施について、高齢者特有の事柄に気づき、情報収集できる。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1. 栄養ケアマネジメント(溝部昌子) 栄養状態のアセスメント、食事の観察 摂食・嚥下機能の評価 栄養ケアにおける多職種連携 様々な栄養補助食品、経管栄養	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:教科書の該当箇所を確認しておく 復習:講義中示された課題 (高齢者の栄養ケア)	60
2	2. 排泄の自立支援(吉原悦子) 排尿のアセスメント、排尿日誌、残尿測定 排尿障害 排尿ケア、排尿方法、排尿用具 排便のアセスメント、排便を促すケア	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題 (排尿日誌の作成)	60
3	3. 皮膚の保護、褥瘡ケア(溝部昌子) 皮膚のアセスメント、掻痒、保清 褥瘡リスクアセスメント、褥瘡の観察 創傷・栄養・体圧の管理	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題 (褥瘡ケア計画の作成)	60
4	4. 感覚機能の低下に対するケア(溝部昌子)10/20 視覚、聴覚機能の低下 痛覚・触覚機能の低下 感覚機能低下と生活への影響 コミュニケーションの工夫	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題 (感覚機能低下と生活への影響)	60
5	5. 末梢循環を促進するケア(溝部昌子) 動脈の加齢性の変化と障害 下肢血流評価 末梢循環を促進するケア	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された重要 箇所の修得	60
6	6. 運動機能の維持増進のためのケア 高齢者の運動器障害(溝部昌子) 廃用症候群 運動機能と生活機能障害の評価と看護	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された重要 箇所の修得	60
7	7. 診断・治療を受ける高齢者の看護 (溝部昌子) 検査を受ける高齢者への留意点 高齢者の薬物動態 手術を受ける高齢者の看護	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で配布された参 考資料の精読	60
8	8. リハビリテーション看護(吉原悦子) 高齢者の療養とレジリエンス 回復期における心の動き 運動器・脳神経・循環器疾患のリハビリテーション 摂食・嚥下機能、歩行機能、排泄機能回復訓練にお ける多職種の役割 リハビリテーション看護師のコンピテンシー	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題 (運動器・脳神経・循環器疾患 のリハビリテーションについ て)	60
9	9. 認知症看護(吉原悦子) 認知機能が低下した高齢者への対応 認知症の非薬物療法 認知症高齢者の摂食嚥下、排泄入浴援助 認知症高齢者の意思決定と療養の支援	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で配布された参 考資料の精読	60
10	10. 高齢者によくある症状とその対応① (溝部昌 子) 心不全の兆候、心不全を予防するケア 誤嚥性肺炎、口腔機能評価	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題 (心不全患者の看護)	60

11	11. 高齢者によくある症状とその対応② (吉原悦子) 高齢者の浮腫の要因と観察 浮腫による二次的な健康障害の予防 高齢者の脱水予防ケア	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された重要 箇所の修得	60
12	12. 高齢者の患者安全(溝部昌子) 高齢者の安全な生活 加齢による心身変化と高齢者の事故 転倒・転落、誤嚥、スキンテア、溺水、熱傷	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で配布された参 考資料の精読	60
13	13. 高齢者看護技術(溝部昌子) 災害と高齢者 高齢者救急 高度実践看護	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題	60
14	14. 高齢者の病態と看護問題の包括的理解 (溝部昌子) パーキンソン病、誤嚥性肺炎、 脳梗塞、嚥下障害、尿失禁の理解 病態看護問題関連図の作成	教科書、書き込み プリント、配布資料 を用いた講義 * 課題提出 * ファイル提出	予習:事前に配布された資料 と教科書の該当箇所の確認 復習:講義内で示された課題 (病態看護問題関連図作成)	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	加齢性の心身の変化、保健福祉学入門、看護形態機能学、疾病学各論、看護学概論、看護過程論、生活援助技術論、診療関連技術論、成人・老年看護学概論での学修は老年看護学方法論の学びの基盤となります。			
テキスト	真田弘美他編著:看護学テキスト NiCE 老年看護学技術改訂第3版,南江堂 日本老年医学会:改訂版健康長寿診療ハンドブック,メジカルレビュー社			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・山田 律子:生活機能からみた 老年看護過程 第3版,医学書院 2016 ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会:嚥下調整食学会分類 2013 など https://www.jsdr.or.jp/doc/doc_manual1.html ・日本褥瘡学会:褥瘡予防・管理ガイドライン(第4版)2015 http://www.jspu.org/jpn/info/pdf/guideline4.pdf ・日本創傷・オストミー・失禁管理学会編 IAD-set に基づく IAD の予防と管理 IAD ベストプラクティス http://www.jwocm.org/pdf/IAD-best_practice.pdf ・厚生労働科学<研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 地域におけるかかりつけ医等を中心とした心不全の診療提供体制構築のための研究 https://plaza.umin.ac.jp/isobegroup/ より心不全療養に関する様々な資料が利用できます
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なアセスメントやケア技術に加えて、加齢による心身変化に対応できる老年看護学特有のアセスメント方法や高度で繊細な技術が求められます。 ・患者さんや家族に説明することをイメージしながら、知識や技術をしっかりと自分のものにしていきましょう。
達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50%、課題提出 7回 35%、その他(ファイル提出フォーム提出)15%が評価配分です。 ・各単元での学修目標は必ず修得しておくべき事柄です。情報を調べ、その意味を理解し、課題の取り組みに活用できていることを課題提出、筆記試験で確認します。毎時の積み重ねの上に最終目標が達成でき、老年看護学実習の準備が整います。